

エコアクション21

八千代市環境活動レポート

(平成27年度実績)



八千代市役所前グリーンカーテン



平成29年 1月 発行
八千代市

目次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 第 1 部. 組織の概要と環境方針 | |
| 1. 組織の概要 | 2 |
| 2. 環境方針 | 5 |
| 第 2 部. 地球温暖化防止に向けた基本的な取り組み | |
| 第 1 章. 自らの環境負荷を低減させる取り組み | |
| 1. 環境活動レポートの位置づけ | 6 |
| 2. 平成 27 年度における取組状況調査の概要 | 6 |
| 3. エネルギー等利用実態調査結果 | 6 |
| 4. 温室効果ガス | 7 |
| (1) 温室効果ガス排出量 | 7 |
| (2) 温室効果ガス（二酸化炭素換算）総排出量に係る原単位 | 8 |
| (3) 温室効果ガス排出量に関する各取組項目について | 11 |
| 5. 一般廃棄物焼却量 | 18 |
| 6. 水道使用量 | 19 |
| 7. コピー用紙使用量 | 20 |
| 8. 庁舎関係から排出される廃棄物量 | 21 |
| 9. 八千代市における化学物質の管理 | 21 |
| 10. 市役所本来業務における取り組み | 21 |
| 11. グリーン購入 | 21 |
| 第 2 章. 主要な環境活動計画の内容 | 22 |
| 第 3 章. 温室効果ガス排出量削減に対する総合的な取り組み | 23 |
| 第 4 章. 地域の環境保全・創造に向けた取り組み | 24 |
| 第 3 部. 環境関連法規の遵守状況 | 30 |
| 第 4 部. 平成 27 年度の各所属における環境目標と達成状況の自己評価 | 36 |
| 第 5 部. 総評及び代表者による全体の評価と見直し | |
| 1. 平成 27 年度実績に対する総評 | 54 |
| 2. 代表者による全体の評価と見直し | 55 |
| 資料 1 | 56 |
| 資料 2 | 57 |

環境活動レポートは、平成 27 年度のエコアクション 21 の取組状況として、八千代市第 2 次環境保全計画や環境に関連する計画の進捗をまとめたものです。また、環境活動レポートは、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき策定した八千代市率先実行計画の第 3 期計画における平成 27 年度実績報告の内容及び「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づいた内容も包括しています。

※温室効果ガス排出量データは、平成 21 年度を基準年として 27 年度までのデータです。

第1部. 組織の概要と環境方針

1. 組織の概要

(1) 八千代市の概要

市内に八千代台、勝田台、米本、高津、村上の5つの大規模住宅団地があります。この中でも八千代台団地（昭和32年完成）は日本の大規模住宅団地の発祥の地であり、これを契機に大規模団地の建設が進み、昭和50年の国勢調査では、人口10万人以上の市で全国一の人口増加率を示しました。一時は全国で有数の人口急増都市になりました。

市の北側半分は、下総台地の緑豊かな自然があり、南側半分は、森を残し、緑の景観に配慮した市街地が形成されています。

また、市の中央には八千代市のシンボル「新川」が南北に悠々と流れ、人々は釣りや散策を楽しんでいます。八千代市は、首都30キロ圏の位置と交通の便、自然環境の良さから首都圏のベッドタウンとして急激に発展してきました。平成8年4月、都心に直結する東葉高速鉄道が開通。新しい駅を中心に開発が進み、今後もさらに発展が見込まれています。

八千代市第4次総合計画において、八千代市の将来都市像を「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」と定めて、この将来像を実現するために、6つの柱をたて、まちづくりを進めています。

1. 健康福祉都市をめざして
2. 教育文化都市をめざして
3. 環境共生都市をめざして
4. 安心安全都市をめざして
5. 快適生活都市をめざして
6. 産業活力都市をめざして

| | | |
|----|----------|---|
| 人口 | 195,371人 | 面積：51.39km ² (東西 8.1km, 南北 10.2km) (平成28年3月31日現在) |
| 男 | 96,815人 | |
| 女 | 98,556人 | |
| 世帯 | 84,858世帯 | |

(2) 認証・登録番号

0003458 (認証・登録日：2009年3月30日)

(3) 認証登録事業者

自治体名：八千代市役所

代表者：八千代市長 秋葉 就一

(4) 所在地

千葉県八千代市大和田新田312-5

(5) 総括環境経営管理責任者

八千代市安全環境部 部長 天川 一夫

(6) 環境経営管理事務局

八千代市安全環境部環境保全課環境政策室 室長 谷口 路代

電話 047-483-1151

(7) 事業活動の内容

八千代市の行政活動

(8) 事業の規模

職 員 数 1, 3 1 1 人 (平成 2 8 年 4 月 1 日現在, 特別職 2 人を含む)
延べ床面積 3 4 3, 5 6 8 m² (平成 2 7 年 4 月 1 日現在)

(9) 対象施設 (認証・登録範囲)・・・124 施設 (平成 2 8 年 4 月 1 日現在)

| | | |
|--------------------------------|--|---|
| <p>市長部局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市役所庁舎 ・児童発達支援センター ・保健センター ・保育園 (8 園) ・児童会館 (3 館) ・子ども支援センターすてっぷ 2 1 (2 か所) ・公民館 (9 館) ・図書館 (4 館) ・八千代台東南公共センター ・消費生活センター | <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター ・文化伝承館 ・支所, 連絡所 (7 か所) ・清掃センター ・青年館 (4 か所) ・「ガキ大将の森」キャンプ場 ・多文化交流センター ・市民活動サポートセンター ・障害者福祉センター ・衛生センター ・市営霊園 ・上高野多目的グラウンド |
| <p>教育委員会</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会庁舎 ・郷土博物館 ・小学校 (2 2 校) ・中学校 (1 1 校) ・少年自然の家 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育センター ・適応支援センター ・青少年センター ・学校給食センター (2 か所) |
| <p>消防</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・消防本部庁舎 ・中央消防署 | <ul style="list-style-type: none"> ・消防署 (4 か所) |
| <p>上下水道局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道局庁舎 ・村上給水場 | <ul style="list-style-type: none"> ・浄水場 (6 か所) ・ポンプ場 (2 か所) |
| <p>指定管理者制 度導入施設</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・勝田台中央公園小体育館 ・やちよ農業交流センター ・ふるさとステーション ・市民会館 ・八千代市文化センター (2 か所) ・市民体育館 ・八千代台近隣公園小体育館 ・市民ギャラリー | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉センター ・ふれあいプラザ ・八千代市知的障害者通所施設 (第 1, 2, 3 福祉作業所) ・総合生涯学習プラザ ・総合グラウンド ・中央図書館 |

※施設の名称は, 平成 2 7 年 2 月発行の「八千代市市民便利帳 2 0 1 5」を参照。

エコアクション21 環境経営管理推進組織図 (図1)



2. 環境方針

環 境 方 針

1 基本理念

八千代市第2次環境保全計画で示している「自然と人の暮らしが持続的に調和するまち」を環境の基本目標として、私たちは日常の生活や都市活動のあり方を身の回りから見つめ直す必要があります。また、市、事業者および市民のすべての者の協力によって、人と自然が共生し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を目指していかなければなりません。

そこで、全職員が一丸となり、率先して環境意識の自覚と実践を確保するとともに、地球温暖化防止に向けた環境保全活動に取り組みます。

2 基本方針

基本目標の実現に向けて4つの基本方針を掲げ、環境先進都市づくりを推進します。

- (1) 持続可能な循環型のまちをつくる
- (2) 安心・安全な生活環境を保全する
- (3) 自然と共生するまちをつくる
- (4) 市民・事業者とともに実践する

3 基本的な取り組み

基本方針に沿って、次のことに取り組みます。

- (1) 自らの環境負荷を低減させる取り組み
 - ① 電力・燃料の消費及びごみ焼却等に伴う二酸化炭素等温室効果ガス排出量の削減
 - ② 廃棄物の削減のため、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進
 - ③ 水資源の節減
 - ④ グリーン購入の推進
 - ⑤ 新エネルギーの導入・利用と省エネルギー活動の推進
 - ⑥ 企画・設計段階における、①～⑤の優先した取り組み
- (2) 地域の環境保全・創造に向けた取り組み
 - ① 3Rの視点から、循環型社会の構築を目指す
 - ② 谷津・里山や生物多様性の保全推進
 - ③ 環境学習の推進
- (3) 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、環境汚染の予防に努めます。
- (4) 環境方針及び実施成果を全職員に周知するとともに、環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ、広く一般にも公表します。



平成27年10月15日

八千代市長 秋 景 就 一